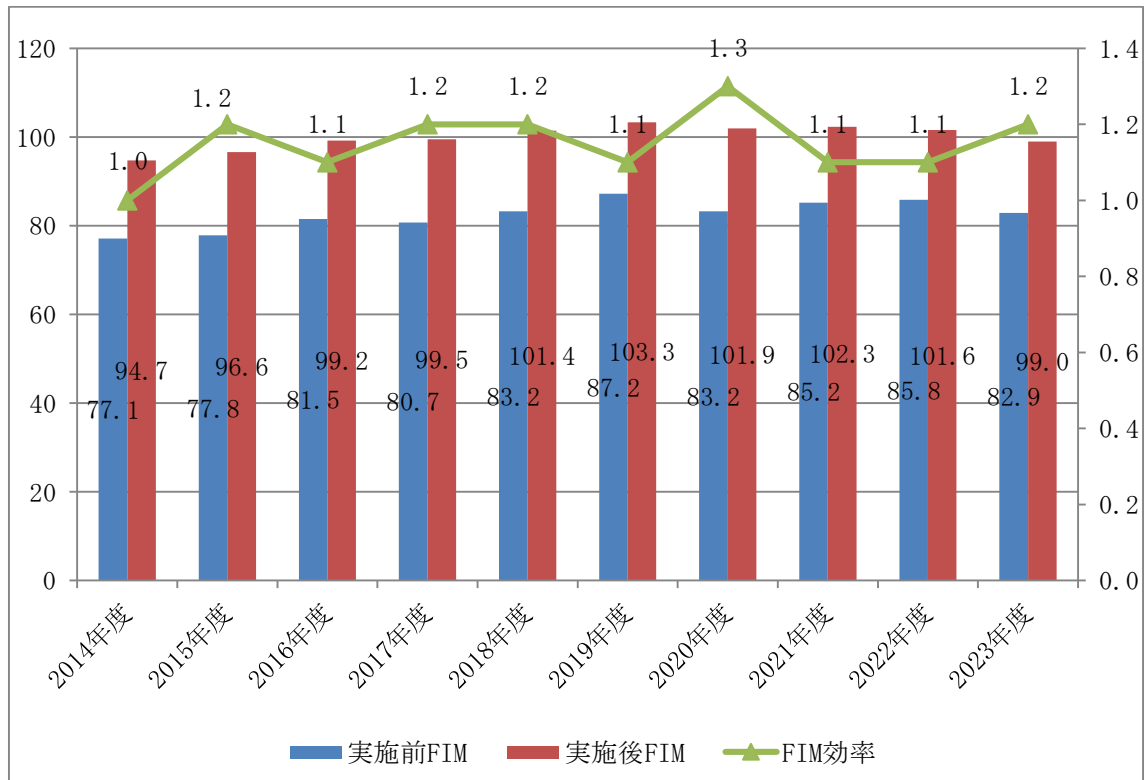


リハビリテーション実施前の FIM、実施後の FIM、FIM 効率



リハビリ実施前と実施後の FIM^{※1} の点数の推移と FIM 効率^{※2} を示す。2023 年度の FIM 利得^{※3} は 16.1 点、FIM 効率は 1.2 であり、ここ数年、FIM 効率は 1.1～1.3 を推移している。今後も安定したリハビリテーション効果を確保するためにはスタッフ教育が重要であり、質向上に向けて臨床教育に力を注いでいく。

※1 FIM：Functional Independence Measure、機能的自立度評価表

最も臨床で使用されている日常生活活動の評価表

※2 FIM 効率：(退院時 FIM-入院時 FIM) / 入院日数

日常生活がどの程度改善したかの指標であり、点数が高いほどリハビリの効率が低いことを示す。

※3 FIM 利得：退院時 FIM-入院時 FIM

データ提供 リハビリテーション部